Benesse

S362-ト

おうちの方へ：お子さまのご使用の前に必ずお読みください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

自分で選んで楽しいオーダーキッズ自転車 取扱説明書

子どもが伸びる毎日づくり すっく

この度は、「すっく」の「自分で選んで楽しいオーダーキッズ自転車」をご購入いただきまして、ありがとうございます。

©Benesse Corporation ／しまじろう

はじめて自転車に乗れた日は、お子さまにとってもおうちの方にとっても一生の思い出。自転車はお子さまの世界をグーンと広げる大切な乗り物だと考えています。そこで「乗りたい」キモチと「乗れる」楽しさを感じていただき、また、はじめて乗る2歳6カ月頃のお子さまでも、地面が足に着き、なおかつ長く乗り続けられる１６インチサイズでの設計となっていますので、ぜひ、お子さまの成長に合わせてご愛用いただければと思います。

⚠警告

自転車を安全で正しくご使用いただくために、この取扱説明書をお読みいただき十分にご理解されてからご乗車ください。ご使用を誤りますと大きな事故等につながりかねません。安全にお乗りにいただくため、注意事項、禁止警告を必ずお守りください。

⚠警告　ご注意ください「自分で選んで楽しいオーダーキッズ自転車」には小さな部品があります。

《とくに注意が必要な小さな部品》
○ブレーキカバー保護キャップ　○ハブ軸キャップ
○空気入れキャップ　○シートピンキャップ

＊窒息・ケガなどの危険がありますので、各パーツを口に入れないでください。
＊ケガや誤飲の危険がありますので、破損、変形したときには使用せずにお近くの自転車専門店にご相談ください。

※ 素材の一部にポリ塩化ビニルを使用しています。（使用個所：ニギリ・空気入れキャップ・サドル・ブレーキワイヤー被覆・泥よけカバー先の保護シール）　※ ブレーキレバーにナイロンを使用しています。アレルギーをお持ちの方は十分にご注意ください。

◆同梱物の確認　※ 必ずはじめに確認してください
①自転車本体：１台　　②付属工具：１個　　③取扱説明書（保証書）：１冊

◆ご使用前の準備
◉ ベルを正しい位置に合わせてください。◉ ご乗車前にタイヤの空気圧の確認してください。◉ 商品を出した後の袋やエアパッキンなど梱包資材は放置せず、すぐに廃棄してください（被ったり、顔に貼り付けたり、口に入れたりして窒息の恐れがあります）。また、廃棄の際には各地方公共団体の廃棄区分にしたがって捨ててください。◉ 取扱説明書では正しい取り扱い上の注意や使い方、手入れの方法などを具体的に説明していますので、必ずお読みください。◉ またお子さまには、読んで聞かせて説明してあげてください。◉ お読みになりましたら大切に保管してください。◉ この取扱説明書は小さなお子さまの手の届かない所に保管してください。

◆品質保証登録
品質保証書には、お客さまのお名前、ご住所を必ずご記入ください。車体番号欄には、車体番号を必ずご記入ください。車体番号は自転車本体のフレームに記載されています。

もくじ

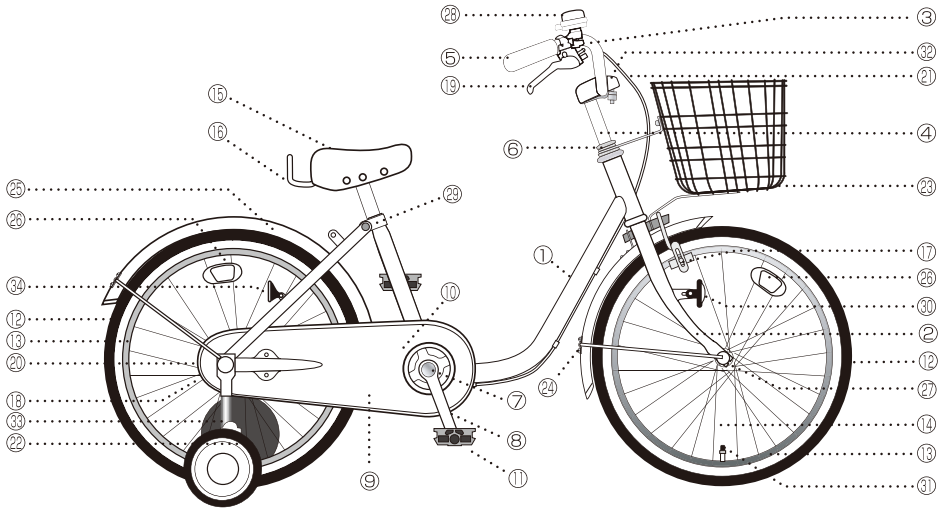
① 警告表示について.....P.2
② 自転車の各部の名称.....P.2
③ 自転車の特徴について.....P.3
④ 幼児車の取り扱い(乗車する前に).....P.3
⑤ 補助輪はずしのウラわざ！.....P.4
⑥ 日常点検ついて(とくに注意してください。).....P.5
⑦ 安全にご使用いただくために.....P.6~P.9
⑧ 乗る前の点検・警告・強制.....P.10~P.12
⑨ 調整の仕方.....P.13~P.14
⑩ 正しい使用条件.....P.14
⑪ お手入れと保管.....P.15
⑫ 交通ルールを守りましょう.....P.16
⑬ 定期点検チェックリスト.....P.17
⑭ 品質保証規定・品質保証書.....P.18~P.19

1　警告表示について

● 警告表示は危険の程度に応じて区分していますので、とくに注意してください。表示内容を無視して誤った使い方が生じる危険や、損害の程度を次の表示で区分し説明しています。

⚠警告	このマークは取り扱いを誤ったときに、使用者が死亡もしくは骨折等重傷を負う可能性が想定されるものです。
⚠注意	このマークは取り扱いを誤ったときに、使用者が、障害を負う危険が想定される場合、及び物的損害のみの発生が想定されるものです。
⃠禁止	このマークは危険の程度と関係なく、安全上してはいけない危険行為、保証の対象外をあらわすものです。
❗強制	このマークは使用者に必ず実行していただくものです。

2　自転車の各部の名称



①	フレーム	⑧	ギアクランク	⑮	サドル	㉒	補助輪	㉙	シートピン
②	ホーク	⑨	チェーン(カバーのウラ)	⑯	サドル補助バー	㉓	カゴ	㉚	フロントリフレクター
③	ハンドルバー	⑩	チェーンケース	⑰	前ブレーキ	㉔	前泥よけ	㉛	空気入れキャップ
④	ハンドルポスト	⑪	ペダル	⑱	後ろブレーキ	㉕	後ろ泥よけ	㉜	ハンドルキャップ
⑤	ニギリ	⑫	タイヤ/チューブ	⑲	ブレーキレバー	㉖	スポークリフレクター	㉝	補助輪軸
⑥	ヘッドパーツ	⑬	リム	⑳	フリーホイール	㉗	ハブキャップ	㉞	リヤリフレクター
⑦	ボトムブラケットセット	⑭	スポーク	㉑	ブレーキワイヤー	㉘	ベル		

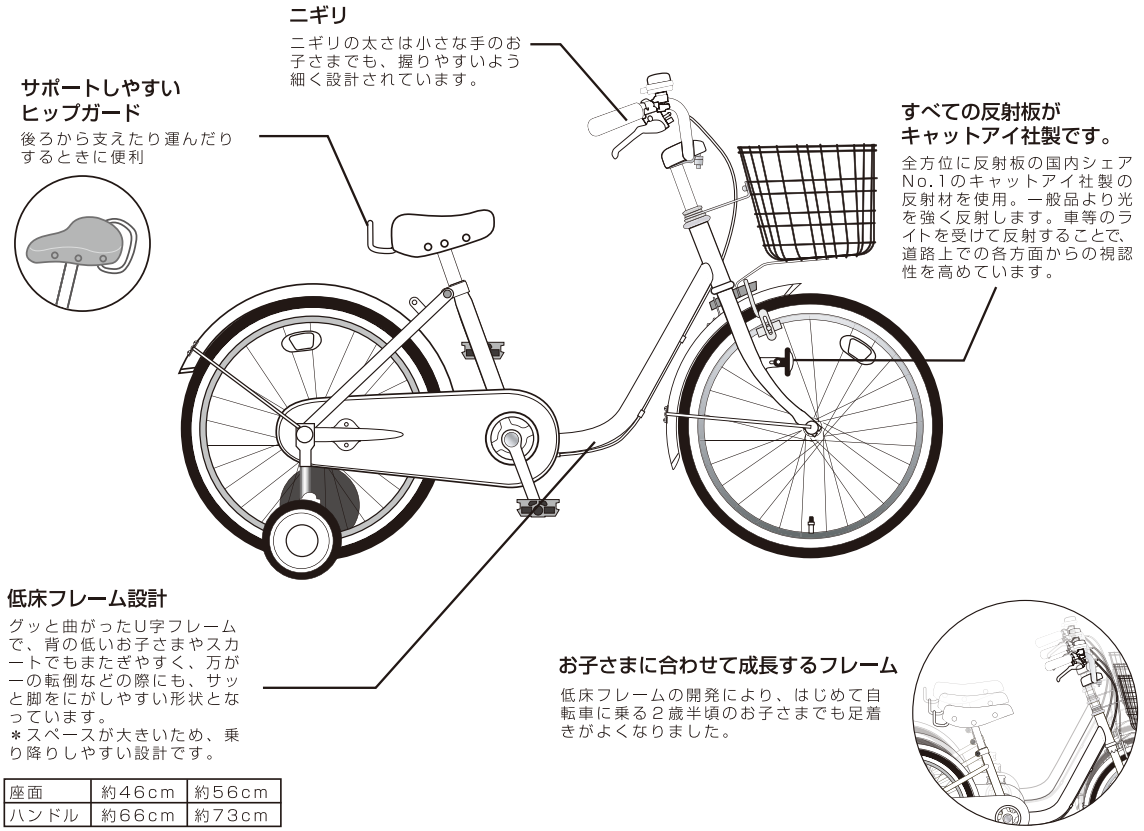
●素材／フレーム、ヘッドパーツ、ハンドルレバー、ハンドルポスト、サドル補助バー、シートピン、チェーンケース、チェーン、泥よけ、補助輪軸、カゴ：スチール　ベル台座、ペダル、ハンドルキャップ、ハブキャップ、補助輪：ポリプロピレン　ベル、リム：アルミニウム　ブレーキワイヤー：ポリプロピレン、鋼　ブレーキレバー：ナイロン樹脂　タイヤ：ゴム　フロントリフレクター、リヤリフレクター：アクリル、ABS樹脂　スポークリフレクター：アクリル　ニギリ、空気入れキャップ、サドル、ブレーキワイヤー被覆、泥よけカバー先の保護シール：ポリ塩化ビニル

●製産国：国内組立（部材：中国）

3　自転車の特徴について

子どものことを考えて設計しました

お子さまに合わせて成長するフレーム、低床フレームの開発により、はじめて自転車に乗る２歳半頃のお子さまでも足着きがよくなりました。



ニギリ

ニギリの太さは小さな手のお子さまでも、握りやすいよう細く設計されています。

サポートしやすいヒップガード

後ろから支えたり運んだりするときに便利

すべての反射板がキャットアイ社製です。

全方位に反射板の国内シェアNo.1のキャットアイ社製の反射材を使用。一般品より光を強く反射します。車等のライトを受けて反射することで、道路上での各方面からの視認性を高めています。

低床フレーム設計

グッと曲がったU字フレームで、背の低いお子さまやスカートでもまたぎやすく、万が一の転倒などの際にも、サッと脚をにがしやすい形状となっています。
＊スペースが大きいため、乗り降りしやすい設計です。

座面	約46cm	約56cm
ハンドル	約66cm	約73cm

お子さまに合わせて成長するフレーム

低床フレームの開発により、はじめて自転車に乗る２歳半頃のお子さまでも足着きがよくなりました。

4　幼児車の取り扱い（乗車する前に）

●ご使用の初期には公園等の危険のない場所で十分に練習し、慣れてから一般道路でご乗車ください。
●自転車の操作に十分に慣れるまでは、注意して走行してください。
●小さなお子さまが安全に乗れるようになるまで、保護者が十分にご指導ください。
●補助輪の付いた自転車は、一般道路では乗車しないでください。
●交通ルールや標識の見方は保護者が指導してあげてください。
●乗車前の点検は必ず保護者が行ってください。
●ブレーキの使い方をお子さまがマスターできていることをご確認ください。

6　日常点検について(とくに注意してください)

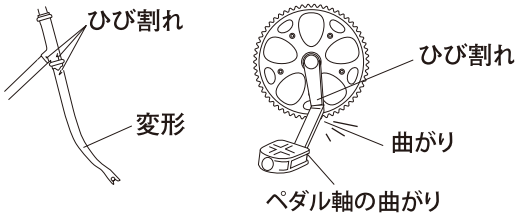
保護者の方へお願い：お子さまは点検ができません。保護者の方が点検してあげてください。
その他、点検項目はP.10～P.12をご覧ください。転倒や衝突などによる衝撃を受けてしまった場合は、必ずお近くの自転車専門店で点検を受けてください。

⚠警告

変形やひび割れはありますか？

（点検方法：P.12をご覧ください）

◆フレームや前ホーク　◆ペダル軸やギヤクランク



◆異常がある状態で走行すると部品が折れて転倒し、大きな事故につながります。

❗強制

異常を発見したら、ただちに使用をやめてください。
お近くの自転車専門店にて整備点検・修理等を受けてください。

⃠禁止

変形やひび割れを見つけたとき、または異音があったときは交換をしてください。お近くの自転車専門店にて修理等を受けてください。

前後ブレーキはきいていますか？

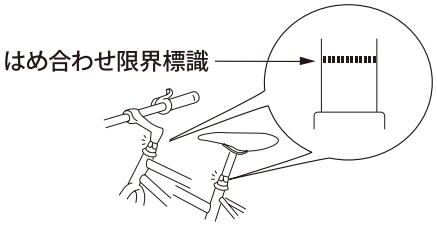
（点検方法：P.11をご覧ください）

タイヤの空気圧や摩耗、キズは確認できていますか？

（点検方法：P.10をご覧ください）

ハンドルやサドルは、はめ合わせ限界標識が見えなくなるまで入っていますか？

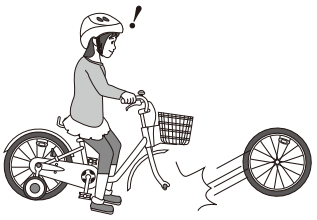
（点検方法：P.13をご覧ください）



◆ハンドルやサドルが折れたり抜けたりして転倒し、大きな事故がにつながります。

車輪やサドル、ハンドルの締め付けは確実に締まっていますか？

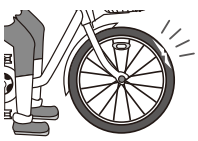
（点検方法：P.11をご覧ください）



◆車輪やサドル、ハンドルが外れて転倒し、大きな事故につながります。
◆車輪の締め付けは調節を間違えますと危険ですので、お近くの自転車専門店で行ってください。

すり減ったタイヤで走らないでください

◆スリップして転倒する場合があり危険です。
◆タイヤの溝がはっきりと見えない場合は絶対に乗車しないでください。
＊お近くの自転車専門店で交換してください。

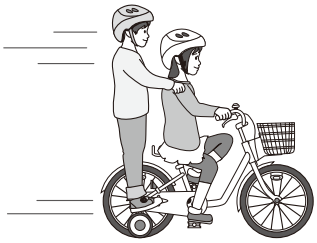


7 安全にご使用いただくために
保護者の方へお願い：お子さまへ十分にご指導ください

⚠警告

二人以上で絶対に乗らない、危険な乗り方をしない

禁 止



◆ハブステップは禁止です。
◆車輪がロックして転倒し、大きな事故につながります。

ハンドルから手を離さない（片手運転や手離し運転は絶対にしない）

禁 止

◆転倒や落車をし、大きな事故につながります。
（傘を差しての乗車は絶対にしないでください）

凸凹のところを走らないでください（歩道の段差・溝など）

禁 止

【保護者の方へお願い】
◆補助輪を付けている場合、段差があるところでは転倒してしまいます。
◆自転車から降りて押して歩いてください。

傘やステッキ、釣竿等を車体に差し込んだり吊り下げたりししない

禁 止

◆走行中に車体がふらついて転倒し、大きな事故につながります。危険時の回避に急な操作ができない恐れがあります。
◆傘や釣竿等を、車体に差し込まないでください。

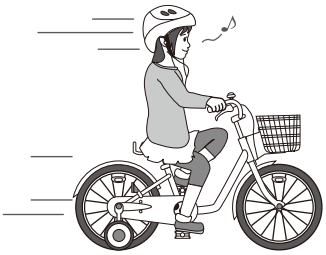
お子さま自身、他人への危害、財産への損害、また、自転車の損傷を未然に防止するために必ずお守りください。

⚠警告

ヘッドフォン、イヤフォン（片耳含む）、携帯電話、ゲーム機を使用しながら乗らない

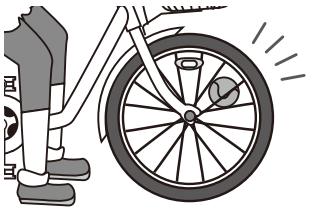
禁　止

●まわりの音が聞こえにくく注意散漫になり、大きな事故につながります。



スポークの間にボール等を入れて走らない

禁　止



◆ボール等が移動してブレーキやスポークが損傷し、大きな事故につながります。

巻き込まれやすい服装では乗車しない。滑りやすい履き物、裸足では乗車しない

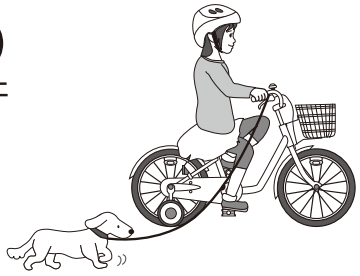
禁　止

◆丈の長いコートや長いスカートなどがギヤに巻き込まれて転倒し、大きな事故につながります。

◆滑りやすい履き物や裸足で乗車すると、足がペタルから外れて大きな事故につながります。

手やハンドルに荷物を引っかけて乗車しない。ペットをつながない

禁　止



急ブレーキをかけない。ブレーキは両手で（ただし、左を先）

強　制

◆ブレーキは両手でかけること【ブレーキは先に後ろのブレーキ（左側ブレーキレバー）をかけてから、次に前のブレーキ（右側ブレーキレバー）をかけてください。】

＊片方だけかけると車輪がロックした状態になり、転倒の恐れがあります。

◆どのようなときもブレーキレバーを握れるようにしてお乗りください。

◆常に前方には注意をし、ゆっくりとブレーキをかける準備をしてください。

◆雨の日などはブレーキがききにくくなります。ゆっくり安全に走行してください。

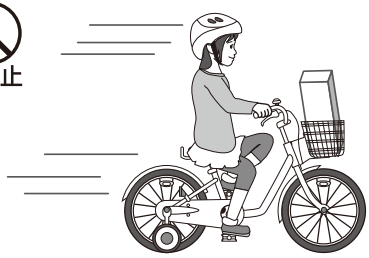
◆前ブレーキ（右側ブレーキ）を強くかけすぎると、車輪がロックし前方に転倒してしまいます。

◆ブレーキは片側だけでも不具合があるときは、乗車しないでください。必ず両方のブレーキとも正常な状態で乗車してください。

⚠警告

積載条件を超える荷物を積まないでください

禁 止



◆幼児車は荷物を積めません。
◆バランスを崩して転倒し、大きな事故につながります。

下り坂では絶対にスピードを出さない

禁 止

【保護者の方へお願い】
◆ブレーキ操作をお子さまが十分にできないときは、平坦な場所を選んで乗車させてください。
◆下り坂でブレーキをかけ続けると、ブレーキが焼き付く場合があります。ブレーキがきかなくなり大きな事故につながります。
◆濡れた路面では乗車せずに降りて押して歩いてください。転倒して大きな事故につながります。

カーブではブレーキをかけないでください

禁 止

◆横滑りを起こしてしまうことがあります。カーブではスピードを落としましょう。

スタンドは最後まではね上げてください。中途半端な状態での乗車はしないでください

禁 止

◆曲がるときにスタンドが地面と接触して、大きな事故につながります。
（※ スタンドは別売です）

駐輪したときの注意事項

◆お買い物など、自転車に乗って行った先では必ず駐輪場または指定された場所に停めましょう。
◆使用後はブレーキに手を触れないでください。熱くなっている場合があり、ヤケドをする恐れがあります。

【保護者の方へお願い】
◆補助輪の付いている自転車を坂道などに置くと動き出してしまいます。平らな場所に駐輪するようにご指導ください。
◆駐輪するときは、歩行者や他の交通機関の邪魔、または迷惑のかからなように停めてください。
◆自転車の放置はやめてください。

走行中ブレーキワイヤーを引っ張ったり曲げたりしない

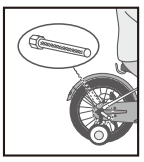
禁 止

◆突然ブレーキがかかり、事故につながります。
・自動車のすぐ横は絶対に走らないでください。
・自動車の左折時に注意。巻き込まれます。

【保護者の方へお願い】
◆お子さまや幼児車は、自動車からはとても見えにくい状態です。絶対に自動車の近くでは乗せないでください。
◆停車中の自動車の後ろや横には行かないでください。急に車がバックしたりドアが開き、事故につながります。

突起物装着の禁止

禁 止



●ハブステップの装着は絶対にしないでください。
●傘等固定装着用具の装着は絶対にしないでください。

⚠警告

分解・改造しない

禁 止

◆決して分解、改造しないでください。
◆修理はお近くの自転車専門店にて行ってください。
◆部品が外れて損傷を招き、事故につながります。
◆本書に記載の調整箇所以外はご自分で調整しないで、必ずお近くの自転車専門店で行ってください。
◆ブレーキの制動面（リムとブレーキゴム接点など）にオイル等を注油しないでください。(ブレーキがきかなくなり大きな事故につながります)
◆走行以外の目的で使わないでください。(踏み台には絶対にしないでください)

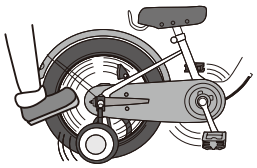
ハンドルの形や向きを変えない

禁 止

◆ハンドルの向きを変えると走行が不安定になり、大きな事故になります。

車輪やチェーンなど回転するものに触れない

禁 止



【保護者の方へお願い】
◆車輪やチェーンなど回転するものに、お子さまの手や足を近づけさせないでください。体が巻き込まれ、ケガの恐れがあります。
◆回転部が動いているときは体が触れないように注意してください。
◆とくにお子さまが遊んでいるときや、清掃時には手や足を入れないように注意してください。

天候や視界が悪いときは乗らない

禁 止

◆視界が悪い場合は衝突や転倒し、ケガをする恐れがあります。このような状況では押して歩いてください。
◆雨や雪の日はブレーキゴムとリムの間に水滴が付着して、ブレーキのききが悪く制動距離が長くなり、事故を招く恐れがあります。必ず降りて押して歩いてください。
◆冬期凍結の場合は自転車各部（とくにブレーキ等）が正常に作動しない場合があります。危険ですので、乗車はおやめください。

反射材が破損したまま乗らない

禁 止

◆反射材は自動車から身を守るツールです。泥が付くと自動車から見えなくなることがあります。必ずきれいにしておきましょう。

歩道での注意

禁 止

【保護者の方へお願い】
◆むやみにベルを鳴らさない。鳴らす意味を理解させ、練習させてください。
◆歩道は歩行者優先です。お年寄りや体の不自由な方も歩行しています。歩行者の迷惑となる場合は降りて押して歩くようにお願いします。

ニギリはゆるんでいませんか？

注 意

●ニギリがゆるんでいる場合、ハンドルから抜けてしまう恐れがあります。大きな事故につながりますので交換が必要です。お近くの自転車専門店で取り換えてください。

8　乗る前の点検　⚠警告　❗強制

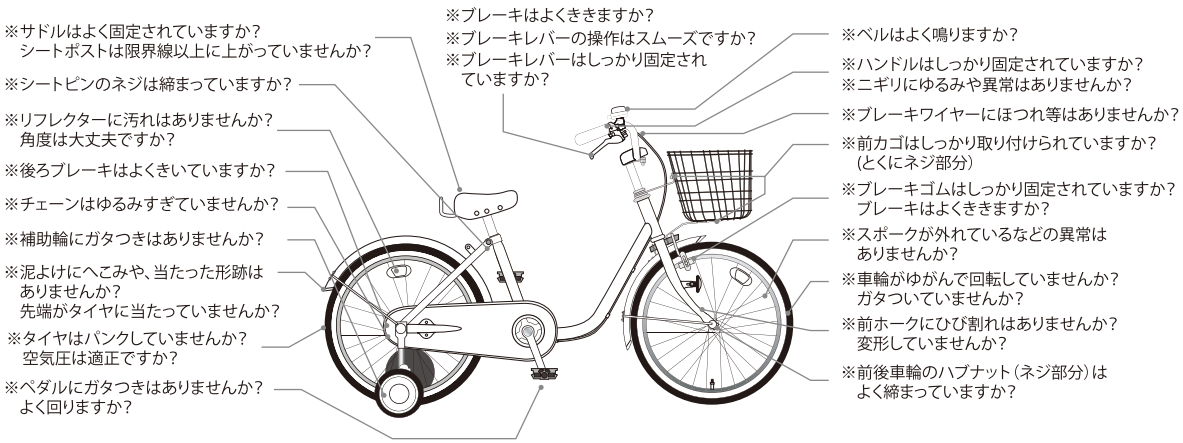
次の点検を必ず実施してください。点検ができないお子さまのために必ず保護者が行ってください。

日常点検	ご乗車になる前に、必ず点検をしてください。不具合がある場合にはお近くの自転車専門店で修理等の整備を行ってください。(有料)
2 カ月点検	お買い上げ後、2 カ月以内のご使用時には、各部分(ネジ等) にゆるみが出ることがあります。お近くの自転車専門店で点検・整備を行ってください。(有料)
定期点検	お買い上げ後、1年ごとにお近くの自転車専門店にて定期点検を行ってください。(有料)

乗る前の点検及び注意

⚠警告

◆定期点検、整備を受けていない車両は保証の適用外となります。
◆乗車前は必ず点検してください。点検、調整後は試乗を行ってください。
◆異常があったときや不明な点があるときは乗車せずに、自転車専門店にご相談ください。



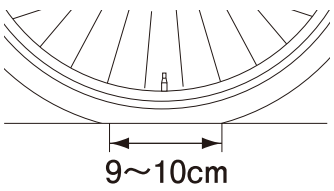
❗強制

●ブレーキワイヤーは異常がなくても1年に1回は交換してください。ブレーキワイヤーは消耗品です。
●タイヤは接地面の溝が一部でもなくなる前に交換してください。タイヤは消耗品です。
●ブレーキゴムはこまめに交換してください。(制動面の溝が残った状態 1 mmになる前に交換)

⚠警告　❗強制

タイヤの空気圧は適正ですか？

◆空気圧が低すぎると、パンクの原因となります。
◆タイヤの空気圧の確認は、乗ったときにタイヤ接地面の長さが9 ～10cm くらいになるのが標準です。(右記図参照)
◆タイヤにキズはありませんか。

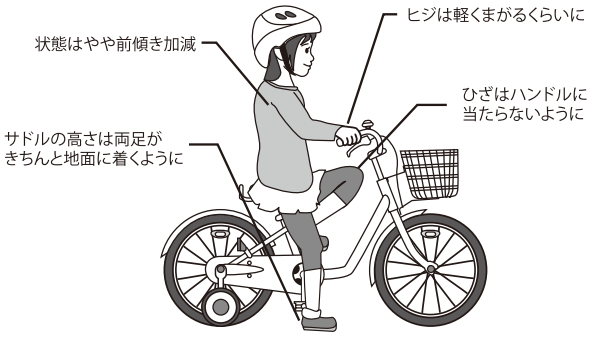


※タイヤの空気圧がご不明のときは、お近くの自転車専門店にご相談ください。

⚠警告　❗強制

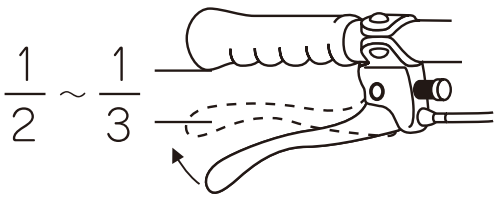
正しい乗車姿勢がとれていますか？

◆サドルに座ったときに、サドルや
ハンドルブレーキレバーの位置は適正ですか？



ブレーキはしっかりききますか？

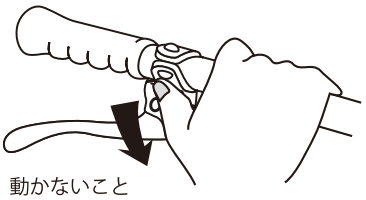
◆左右のブレーキレバーを握って操作したとき、ブレーキレバーとニギリの間隔が開放時の1/2 ～1/3 になるまでにブレーキがききますか。
◆ブレーキレバーの取り扱いでは、ワイヤーのサビや折れ曲がった状態でないかを、とくに注意してください。サビや折れ曲がりがあるとブレーキレバーの作動が重く、ブレーキがきかない場合があります。



ブレーキレバーの固定は大丈夫ですか？

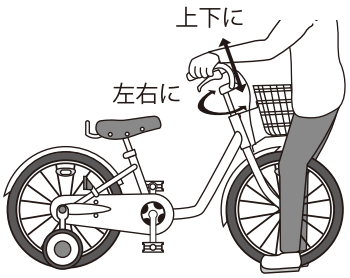
◆指で押してレバーが動かない状態。

【保護者の方へお願い】
◆ブレーキレバーに指が届いているかどうか
確認してあげてください



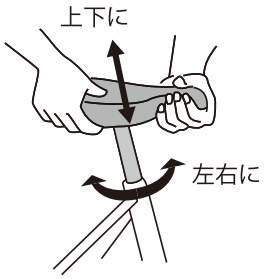
ハンドルはしっかり固定されていますか？

◆ガタつきはありませんか。
◆前車輪に対して直角に取り付けられていますか。
※固定の確認は、おうちの方が左右のハンドル
ニギリ部を持って、前車輪を両脚ではさみ、
上下左右に回しても動かないことを確認してください。
◆同時にニギリが回ったり、抜けないことを確認してください。
※ハンドルの高さ調整はお近くの自転車専門店で必ず行ってください。



サドルはしっかり固定されていますか？

◆上下左右及び前後にガタつきがありませんか？
◆フレームにまっすぐ取り付けられていますか？
◆固定の確認は、おうちの方がサドルの前後を持って
上下左右に回しても動かないことを確認してください。

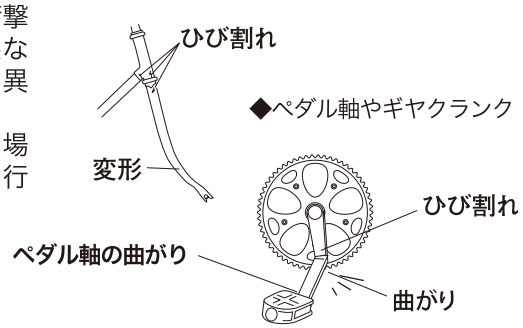


⚠警告　❗強制

フレーム変形やひび割れはありませんか？

◆前ホークは、衝突など強い力を受けたとき、前ホーク自体が変形することによりお子さまや車体の衝撃を和らげるように設計されているものです。追突など強い衝撃を受けた後は、変形やひび割れなどの異常がないか必ず確認してください。
◆走行しているとき、ガタつきなどの異常を感じた場合は、お近くの自転車専門店にて点検・修理等を行ってください。

◆フレームや前ホーク

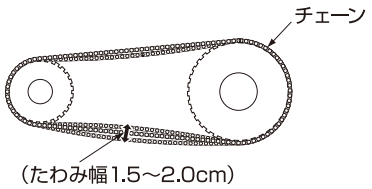


⚠警告　⃠禁止

※曲がりを直しての再使用は絶対にやめてください。大きな事故につながります。
※変形やひび割れがある状態での乗車は絶対にやめてください。破損して大きな事故につながります。
■そのような状態になりましたら、すぐにお近くの自転車専門店にて修理等を行ってください。(有料)

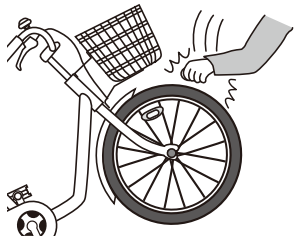
チェーンの調整は適当ですか

◆チェーンの張りは、チェーンの下側の中央部分を軽く押したときに、上下に1.5～2.0cmのたるみがあるのが通常です。張りすぎ、たるみすぎがあるようでしたらお近くの自転車専門店にご相談ください。
◆ケース（チェーン部分を覆っているカバー）にチェーンが当たっていたり、こすれた音がないことを確認してください。
◆チェーンのたるみが大きくなりますと、走行時に外れやすくなり大変危険ですので、お早めにお近くの自転車専門店で交換及び点検・相談を受けてください。



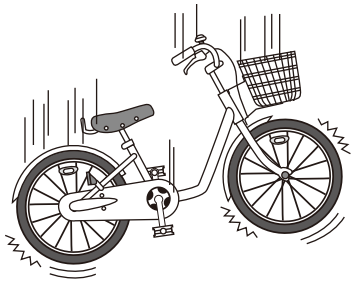
車輪はしっかり固定されていますか？

◆自転車を持ち上げて、車輪を上から強くたたいたとき車輪がしっかり固定されているかどうか確認してください。



各部のネジやナットはゆるんでいませんか？

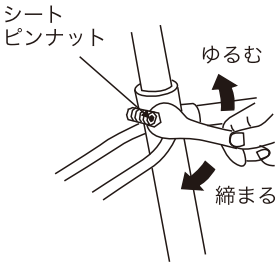
◆自転車の前車輪と後ろ車輪を別々に持ち上げて(5～10cm)軽く落としたときに、異音が発生した場合は、ネジやナットがゆるんでいます。お近くの自転車専門店で調整・整備を行ってください。



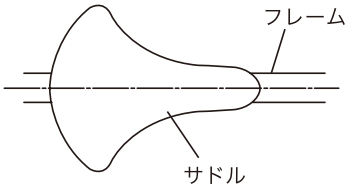
9　調整の仕方

サドルの調整

◆サドル高さの調整方法（ナット式）



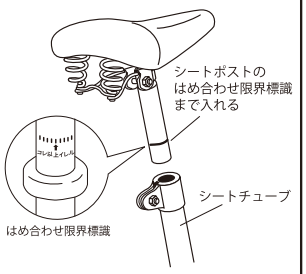
◆正しい方向



フレームと平行に合わせる

⚠警告

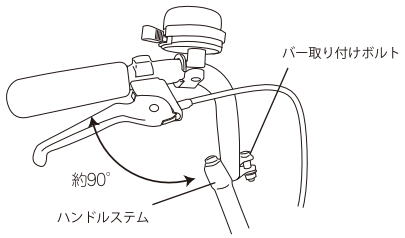
◆サドルを最も高くした場合でも、シートポストのはめ合わせ限界標識が見える状態で乗車してはいけません。
シートポストが折れたり抜けて転倒し、ケガや事故につながる恐れがあります。
◆この場所は大きな事故につながる個所です。
調整される際はお近くの自転車専門店にて調整・点検・相談をしてください。



ハンドルの高さと角度の調整

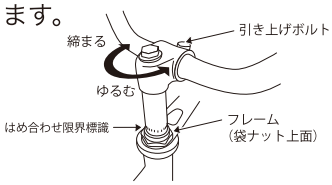
❗強制

◆ハンドル調整はお近くの自転車専門店で必ず行ってください。



⚠警告

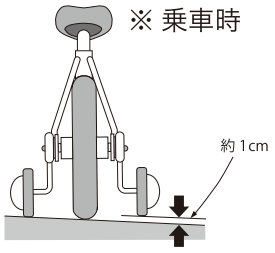
◆ハンドルポストのはめ合わせ限界標識が見える状態で乗車してはいけません。
いかなる場合も限界線は見えないようにすること。ハンドルステムが折れたり抜けて転倒する恐れがあり、大きな事故につながります。



補助輪の高さ調整

安心して乗車できるように補助輪の高さを調整します。

◆左右の高さを同じにしてください。
◆お子さまに乗っていただき、片側の補助輪を地面に着けたとき、もう片方の補助輪が地面より1 ～2cmくらい高くなるようにしてください。はじめてのときは低め（地面より1cm くらい）に、慣れた場合には2cmくらいにしてください。
◆調整したあとはハブナットを確実に締めてください。
◆締め付けトルク：30～35N・m
◆本体に補助輪がしっかり固定されていてガタつきがない かご確認の上、乗車させてください。
また、補助輪は地面から少し浮いた状態が正常です。
※標準の空気圧にしてから確認してください。
※お近くの自転車専門店で調整・相談をしてください。



10　正しい使用条件

乗車体重

車輪サイズ（インチ）	12～18
標準乗員体重（kg）	20
乗用速度（Km/h）	5～8

◆乗員体重について
その車種を設計する上で想定した基本的な乗員体重です。自転車の耐久性は乗員体重、積載重量、使い方等で大きく変わります。従って、上記体重を著しく超えた場合は、消耗度合、劣化度合が大きくなりますので、品質保証をいたしかねることがあります。あらかじめご了承の上ご使用ください。

◆乗用速度について
設計する上で想定した基本的な速度ですので、上記速度を上まわっての乗車、走行は危険ですのでおやめください。スピードは控えめにして安全に走行してください。

最大積載重量及び積載物の大きさ

車　種	幼児車
車両サイズ	12～18
最大積載量	前カゴは1Kg以下
備　考	積載物の大きさはカゴ内に収まるまで

◆前カゴ以外の箇所には荷物を積載しないでください。
◆種類により用途に合わせた設計となっていますので、積載重量に制限があります。
重量の大きなカゴに交換したとしても最大積載重量は同じです。
◆荷物を積載する場合は、重量、規程サイズをお守りください。
◆荷物で反射材が隠れると、自動車から見えなくなり事故につながります。十分に気をつけてください。

11　お手入れと保管

湿気の多い場所をなるべく避けて保管してください。サビを促進してしまいます。
やむを得ず湿気の多い場所に保管される場合は、お手入れをこまめにしてください。

【お手入れ】
・お手入れはこまめにしてください（１カ月に１回程度）
・汚れがひどいときは水洗いしたあと、乾いた布などで水分をよく拭き取ってください。
・メッキやステンレス部分は乾いた布で汚れを拭き取り、「サビ止め油」で拭いてください。
・軽合金部分は白くサビが出てきます。乾いた布で拭き取ってください。
・プラスチック部分は、水で薄めた中性洗剤で汚れを拭き取ってください。

⚠ご注意

◆タイヤ、ブレーキゴム等のゴム類には絶対にワックスをつけないでください。
◆リム、ブレーキゴムに油分が付くとブレーキがきかなくなります。乾いた布で拭き取るだけにしてください。
◆シンナー等、有機溶剤は使用しないでください。（頑固な汚れは、中性洗剤をご使用ください）

廃棄の方法

自転車を廃棄する場合は、各地方公共団体の廃棄区分にしたがって捨ててください。

保管の仕方

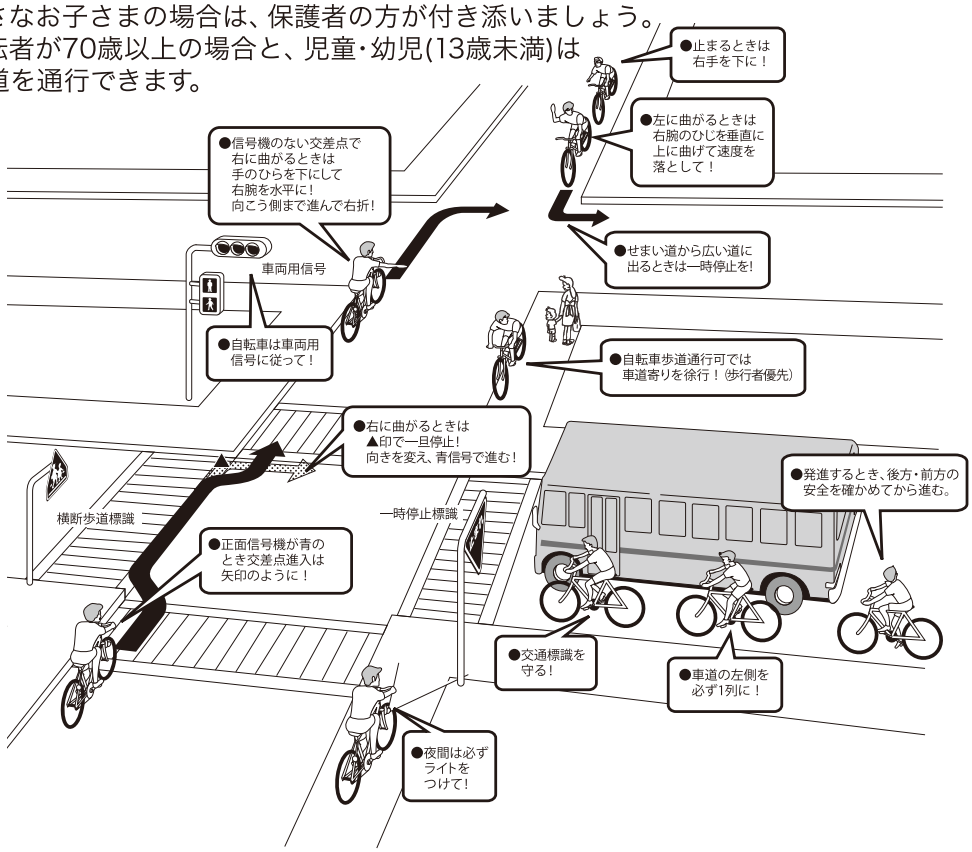
雨のかからない乾燥した場所に保管してください。
雨がかかる場所、またはどうしてもほこりが多い場所では、
「自分で選んで楽しいオーダーキッズ自転車」専用カバー（別売）をおすすめいたします。

⚠ご注意

＊長期保管後、再乗車される場合はお近くの自転車専門店にて点検・整備を行ってください。

12　交通ルールを守りましょう

・自転車で道を走るときに必要なルールです。まず、これだけは覚えておきましょう。
・小さなお子さまの場合は、保護者の方が付き添いましょう。
・運転者が70歳以上の場合と、児童・幼児(13歳未満)は歩道を通行できます。



1. 踏切では必ず一時停止してください。そして、左右の安全を確かめて渡りましょう。
2. 小さなお子さま（13 歳未満）の保護者の方は、お子さまに乗車用ヘルメットをかぶらせるようご指導ください。
3. 道路及び交通状況に応じて、通行者に危険な思い・危害を及ぼさない速度と方法で運転しなければなりません。道路を走ることの最低限のルールです。
4. 補助輪の付いた自転車は一般道路を走行しないでください。
5. 駐車している車の後ろなどで遊ぶと大変危険ですので、遊ぶときや練習するときは公園や広場など、安全な場所で乗るようにしてください。
6. 下り坂ではブレーキがきかないことがあり大変危険です。スピードを安全な状態まで落として走行するようにご指導ください。
7. 交通ルールや標識の見方について、保護者の方が指導し、教えてあげてください。

よくお問い合わせいただくご質問

Q：防犯登録って何ですか？

A：未登録の場合、万が一の盗難・紛失時に警察への被害届が提出できません。
防犯登録（有償）へのご加入をおすすめいたします。
登録はお近くの警察署、または防犯登録加盟店にご相談ください。

Q：自転車に乗っていないのにタイヤの空気が減っています。これってパンクですか？

A：タイヤの空気はご使用の有無にかかわらず、少しずつ抜けていきます。
定期的に空気の補充を行ってください。
また、バルブの内部に入っている虫ゴムは消耗品です。定期的に交換してください。
＊虫ゴムはお近く自転車店・ホームセンター等でもお買い求めいただけます。
（取り扱いのないお店もありますので、ご確認の上お買い求めください）

Q：自転車にサビが出てきたのですが・・・？

A：自転車は基本的に屋外でご使用していただくものです。
風・雨や強い紫外線などの影響を直接受けてしまいます。長くきれいにお使いいただくためにも、普段のお手入れをこまめに行ってください。また、保管には「自分で選んで楽しいオーダーキッズ自転車」専用カバー（別売）をおすすめいたします。

13　定期点検チェックリスト

点検項目		2ヵ月以内		1年ごと		1年ごと		1年ごと		1年ごと		1年ごと		1年ごと		1年ごと	
		点検	調整	点検	調整	点検	調整	点検	調整	点検	調整	点検	調整	点検	調整	点検	調整
1	自転車の大きさは乗り手の体格に合っているか																
2	サドルにまたがって、 足が地面に届くか、 またサドルの固定は確実か																
	・ハンドルの高さは適当か ・乗る人の状態が少し前に傾くように、サドルの前後の位置が調整されているか																
	※1、2は幼児、お子さまに合わせてご確認ください。																
3	フレーム・前ホークに変形や亀裂はないか																
4	ヘッド、ハンガー小物にガタつき・摩耗はないか																
5	泥よけはしっかり取り付けてあるか																
6	補助輪、（スタンド）の取り付けと作動はよいか																
7	タイヤの空気の入り具合は適正か、タイヤはすり減っていないか																
8	ペダルはクランクと直角になっているか																
9	クランクに曲がりはないか、ギアクランクはなめらかに回転し、ガタつきはないか																
10	ペダルはなめらかに回転するか																
11	車輪の揺れ・スポークのゆるみ・軸部のガタつきはないか																
12	ブレーキゴム類、シュー・パッド・ライニングなどはすり減っていないか																
13	レバー間隔は正常で前後ブレーキはよくきくか																
14	チェーンのたるみ・張りは適正か																
15	リフレクターは壊れていないか、汚れていないか																
16	ベルはよく鳴るか、ゆがんでいないか																
17	フリーホイールの回転と注油はよいか																
18	チェーンケースの形状と取り付けはよいか																
	定期点検・調整を実施した販売店ならびに年月日	年 月 日	印	年 月 日	印	年 月 日	印	年 月 日	印	年 月 日	印	年 月 日	印	年 月 日	印	年 月 日	印

●点検整備のお願い
お買い求め後2 カ月以内に1 回目を、2 回目以降は後1 年ごとに実施してください。
なお、点検・整備はお早めにお近くの自転車専門店に依頼されることをおすすめいたします。（有料）
点検以外でも、異常を感じた場合は、上記の点検を実施し、修理・調整してください。

14　品質保証規定

保証の適用除外
次に示すものに起因する故障は保証修理の対象となりません。（使用者負担になります）
ア.使用者の使用上の不注意によるもの。
イ.衝突、転倒、道路の段差への乗り上げ、または溝等に落ちて生じたもの。
ウ.法令の違反行為によって生じたもの。（最大積載量オーバー、二人乗り等）
エ.保守・整備の不備または間違いにより生じたもの。
オ.当社が指定する定期点検調整（P.17）を実施しなかった場合。
カ.使用者が構造、機能を改造または変更したために生じたもの。
キ.酷使または一般に自転車が走行しない場所での走行（道のない山岳ツーリング、道のない土手の傾斜面等）により生じたもの。
ク.レンタサイクルなど不特定多数で使用された場合。
ケ.地震、落雷、火災、水害、公害、その他人災、天災、地変によって生じたもの。
コ.手入れ不十分、保管場所の不備及び時の経過により生じた塗装面、メッキ面、その他これに類する不具合及びプラスチック部分等の自然退色。
サ.部品の通常の摩耗または疲労が認められるもの。(タイヤ、チューブ、ブレーキ用ゴム等のゴム類)
シ.くぎ、ビン、ガラス、切削くず、鋭利な石ころ等で生じるパンク。
ス.一般に機能上の影響がない感覚的現象(音、振動等)。
セ.本保証書に示す条件以外の費用等。
ソ.この保証書は盗難保険ではありません。盗難保険及び防犯登録についてはお近くの自転車専門店にご相談ください。

◇保証修理を受けるための条件及び手続き
●保証修理を受けるためには以下の事項をご了承願います。
●保証修理を受ける場合、本保証書と自転車をご持参ください。
●なお保証書の提示がないと保証修理は受けられません。本保証書は字句等を書き換えた場合は無効とします。
●お買い上げの自転車は初期点検(２カ月以内)、その後１年ごとの定期点検を受けてください。
●定期点検を受ける際には自転車と定期点検チェックリストを提示してください。定期点検、調整は有料です。

保証適用外部品（次に示す物の交換修理は、使用者負担となります。）
カゴ等の付属部品、ブレーキワイヤー、ワイヤー取り付け金具、コード類、その他「コ・サ」の項の摩耗品及び疲労品、使用者がご自身で取り付けた部品。

●本保証書は、本書に明示した期間、条件に基き保証修理をお約束するものです。
従って本保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
●保証期間経過後の修理等についてご不明な点は、販売元（品質保証書記載の住所）にご相談ください。
●部品の保有期間
保証期間経過後でも性能を維持するための補修機能部品は、製造元にて常時保有しております。ただし、新型が売り出された場合は、新型で保有していますので予めご了承願います。

品質保証書

＊本保証書は大切に保管してください。

購入年月日	年　月　日	保証期間	ご購入から1年間
お客様のお名前		電話番号	TEL　（　）
お客様のご住所	〒		
車体名	子ども通販「すっく」自分で選んで楽しいオーダーキッズ自転車		
サイズ　１６インチ　車体番号			

販売元	〒７００－８６８６ 岡山市北区南方３－７－１７ ㈱ベネッセコーポレーション 子ども通販「すっく」	製造元	〒５９０－０９０６ 堺市堺区三宝町５丁２８７番地２ 塩野自転車株式会社 TEL０７２（２２９）８２９２（代） FAX０７２（２２８）４１１５

「自分で選んで楽しいオーダーキッズ自転車」と一緒におすすめします！

オーダーキッズ自転車専用サポートバー

オーダーキッズ自転車専用カバー

＊ここでご紹介している商品のデザイン・内容・名称などは変わる場合があります。

●子ども通販「すっく」のラインナップや最新情報は、「カタログ」「ホームページ」「携帯サイト」にてご覧いただけます。

●カタログのご請求はホームページもしくはベネッセ通販窓口まで

★ホームページ
（携帯電話からもご覧いただけます。）
http://shimajiro.jp/shop/

返品・交換について

お客さまのご都合でのご返品は承っておりません。
ご返品の際は必ず事前に、ベネッセ通販窓口までお電話ください。返品できるものは未使用に限ります。

ベネッセ通販窓口

0120-114728　通話料無料 携帯電話OK

電話受付10：00～20：00（日曜、祝日、年末年始を除く）
※2014年４月より、電話受付時間は10：00～18：00に変更になります。

＊かけ間違えが多くなっております。番号をよくお確かめの上、おかけください。
＊一部のＩＰ電話からはつながらない場合があります。また、海外からはつながりません。
＊午前中は込み合ってかかりにくいことがあります。１２時～１５時頃が比較的つながりやすくなっております。

●ご注文と違う商品が届いた、商品に汚損、破損、不良、不足などがあった場合

1．ベネッセ通販窓口にお電話ください（商品到着後８日以内）。返品理由を確認させていただきます。
2．返品可となった場合、下記の「返品連絡カード」にご記入ください。
3．送料着払いの宅配便でご返品ください。

送り先　〒６３３－００５５　奈良県桜井市安倍木材団地２－２－１　株式会社アール 商品センター

4．返品商品到着後、良品をお届けします。

－ ― ― ― ― ― ― ― ― ― ― ― ― ― キリトリ線 ― ― ― ― ― ― ― ― ― ― ― ― －

返品連絡カード：子ども通販「すっく」自分で選んで楽しいオーダーキッズ自転車		返品理由：
お名前：	お電話番号：	
ご住所：	お買い上げ日：	